

國學院大學學術情報リポジトリ

「宗教文化オンラインワークショップ（インドネシア・タイ）」

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-07-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002000591

「宗教文化オンラインワークショップ（インドネシア・タイ）」

2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大という、これまでに体験したことのない状況に見舞われた。

「宗教文化教育の教材研究の国際的展開」を研究の柱の一つとした「デジタル・ミュージアムの運営および日本の宗教文化の研究と教材の国際発信」でも、国際的な教材研究の展開のための研究会を実施する計画を立案していたが、多くの研究者を招聘しての研究会の実施そのものが困難となってしまった。さらに海外の宗教文化についての情報を収集することもこれまで以上に難しくなってしまった。

そこで、海外マーケティングを専門とする株式会社TNCと協力し、オンラインで宗教文化を学ぶワークショップを開催することとした。

株式会社TNCは、とくに食文化に関わる海外マーケティングを専門とし、世界中に調査ネットワークを持つ。食文化、生活トレンドに注目することから、宗教文化の教育に関する関心を持っており、2014年には、代表取締役社長の小祝誉士夫氏に研究会で

発表を行っていただいている。



<https://www.tenace.co.jp/>

その小祝氏からコロナ禍におけるマーケティングの試みとして「オンライン家庭訪問」の仕組みを整えているとうかがった。

オンライン家庭訪問とは、株式会社TNC担当者、コーディネーター、通訳（両者を兼ねる場合もある）と、企業側担当者が現地の情報提供者とZoomでつながり、家の中を見せていただきながら、生活実態を知るとともに、インタビューを行うものである。スマホを持って、家の中を移動しながら行う。海外

に旅行に行っても、一般の家庭を訪問する機会はないため、研究者にとっても、学生にとっても生きた宗教文化を知るには、いい学びになると考え、このインフラを使用して、インドネシアとタイを舞台に、大学生を中心としたオンライン家庭訪問を企画した。

初回は、「インドネシア・ムスリムの暮らし」と題し、7月2日に株式会社TNCの木下朋氏と東北大学教授の木村敏明氏による講演、7月9日にはジャカルタに住むティカさんという、夫と小さなお子さんと三人暮らしの若い働く女性のお宅を訪問させていただいた。



Zoom によるオンライン家庭訪問の様子

11月30日と12月1日には、「タイの暮らしと宗教文化」と題し、木下朋氏と北海道大学教授の櫻井義秀氏の講演とオンライン家庭訪問が行われた。若いタイ人の仏教観や休日の過ごし方が紹介され、参加者からの質問にもリアルタイムで回答していただいた。

今回の企画は新たな産学連携の取り組みでもあり、今後の研究、教育の仕組み作りにも参考になるものと考えている。

(平藤喜久子)